

政策評価調書 目標年度(27年度)実績

政策名	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり	政策コード	I-2	関係部局名	福祉保健部、商工労働部
-----	----------------------	-------	-----	-------	-------------

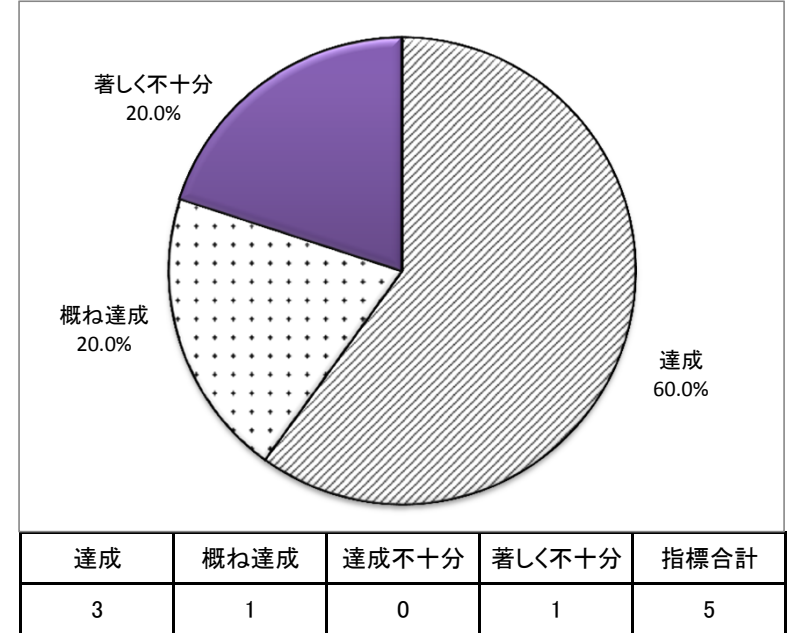
【Ⅰ. 政策の概要】

高齢者の豊かな知識や経験を生かした子育てやボランティア等の地域活動の促進、スポーツ・文化・学習の機会の確保等による生きがいがづくりや、住み慣れた地域で安心して生活を送れるための地域包括ケアシステムの構築などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名		指標評価	総合評価
1	高齢者の生きがいがづくりの推進	達成	A
2	高齢者が安心して暮らせる地域づくり	概ね達成	B

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策の達成状況と評価】

「高齢者の生きがいがづくりの推進」では、高齢者がいきいきと、はつらつとして地域で活動できるよう、高齢者の活躍と地域活動を推進するための養成講座等を開催したことにより、ボランティア活動を行う高齢者やスポーツ・文化活動に参加する高齢者が増加するなど、目標を達成することができた。

一方、「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」では右記指標が目標を達成できなかったものの、全国に先駆けて全市町村での地域ケア会議の実施を実現したほか、自立支援型ケアマネジメント普及のため各種専門職の派遣を行うなど、地域全体で在宅生活を支えるための環境づくりを推進することができた。

政策全体の評価としては、重点指標として4万人を目標としていた認知症サポーターが7万人を超えたほか、地域ケア会議における県と市町村との連携が国からも好事例として取り上げられるなど、目標を達成することができた。

今後は、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える体制の構築や市町村における認知症高齢者見守りネットワークの推進等に取り組み、高齢者が活躍できる健康長寿の社会づくりを推進する。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
小規模多機能型居宅介護事業所の設置されている日常生活圏域数	78.0%
＜著しく不十分となった理由＞	
「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせたサービスに対応するため、多くの人員が必要となることから収益率が低く、事業者にとっては参入のハードルが高い。また、介護支援専門員や看護師の配置が必要であり、特に過疎地域においては人材確保が困難であるため、目標値を達成できなかった。	